

睡眠歯科医学基礎講座 2020 のご案内

2020年9月28日

主催：日本睡眠歯科学会

担当：教育委員会

後援：公益社団法人 東京都歯科医師会

本年も「睡眠歯科医学基礎講座 2020」を開催致します。学術集会と同様に初めての Web 開催となります。本講座は日本睡眠歯科学会認定医単位取得が可能な講座であり、今回も多くの先生を講師としてお招きし、睡眠歯科医学基礎講座を企画致しました。本講座は好きな場所（自宅や診療室）から好きな時間（配信時間内ならいつでも）に「睡眠歯科医学の基礎」と「最先端の研究」をスマホや PC から学ぶことができる絶好の機会です。

「臨床編」は睡眠歯科の臨床にとって必須の内容であり、ご経験豊富な先生方のご講演を通して、知識のアップデートにして頂ければと思います。金子泰之先生には、「OSA の基礎知識と CPAP 療法」について、古畑升先生には「口腔内装置（OA）療法」についてご講演頂きます。歯科医師が睡眠医療に関わることが多いものとして「閉塞性睡眠時無呼吸症（OSA）に対する口腔内装置（OA）療法」がありますが、医科では患者の重症度や患者背景によって治療方法が選択されています。その大部分を占めるものが CPAP 療法や OA 療法であり、OA を作製する歯科医師にとって医科での CPAP 療法を理解することが OA 治療を成功に導く上で重要となります。「OA 治療は OA を作製して装着するだけ」ではなく、OA の正しい設計、正しい調整、適応、副作用などの基礎的なことを理解することが重要です。川上哲司先生には「OA 治療において知っておきたい顎関節症状の基礎知識」についてご講演頂きます。OA 療法の副作用の 1 つである「顎関節や咀嚼筋の痛み、運動障害」への診断と対処法は非常に重要です。これらの診断と対処法の理解が OA 治療の継続に繋がり、OA 治療を成功に導くこととなります。

「研究編」は本学会における研究者の育成、論文を執筆する会員数の増加、睡眠歯科医学の発展を目的として毎年企画しております。今回角谷寛先生には、「英論文の書き方」、西山暁先生には「EBM について、読んだ論文で注意すべきこと」、古橋明文先生には「今後の睡眠歯科研究の方向性」についてご講演頂きます。OA 療法を含む睡眠医療は多くの研究データの蓄積から発展し現在に至っています。世界中の研究者が共有している論文は英字であり、正しく英字の論文を書くことは海外の研究者と情報を共有し、新しい知見を得て本邦の睡眠医療を発展させる上で重要となります。一方、世界中の様々な学術誌に多くの論文が掲載されますが、その中から質の良い論文とそうでない論文を見分ける方法を身につけることも非常に重要です。さらに現在までの研究を踏まえて「今後の睡眠歯科研究の方向性」を知ることはこれから研究テーマを考える上で重要であり、今回企画致しました。

「歯科衛生士・歯科技工士編」は、睡眠医療に携わる衛生士・技工士の育成を目的とし毎年企画しております。今回歯科衛生士編の清水清恵先生には新しいトピックとして「小児 OSA への MFT の応用」について、歯科技工士編の鈴木達先生には基礎的な「OA 製作法」についてご講演頂きます。これらは共に睡眠医療に携わる歯科衛生士や歯科技工士の方々を対象にしていますが、臨床編と研究編に引き続き開催されますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。